marantz®

Model SA-12 取扱説明書

Super Audio CD Player

目次

使用上のご注意 2
携帯電話使用時のご注意 2
お手入れについて 2
結露(つゆつき)について 2
換気についてのご注意 2
移動させるときのご注意 2
付属品 3
リモコンについて 3
乾電池の入れかた 3
リモコンの使いかた 3
特長 4
高音質 4
多彩な機能 4
各部の名前 5
フロントパネル 5
ディスプレイ 6
リアパネル 7
リモコン 8

接続のしかた 9
アンプを接続する 9
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する 9
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する 10
USB 端子に USB メモリーを接続する 10
パソコンを接続する 10
リモートコントロール端子付きの機器を接続する 11
接続 11
設定 11
オーディオタイマーを接続する 11
電源コードを接続する 11

再生のしかた 12
基本操作 12
電源を入れる 12
メディアモードを切り替える 12
ディスプレイやイルミネーションランプを消灯する 12
イルミネーションランプを常に消灯する 12
デジタル音声出力を停止する 13
スーパーオーディオ CD の最優先再生レイヤーを切り替える 13
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する 14
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する 14
お好みの順序で再生する(プログラム再生) 15
データ CD およびデータ DVD を再生する 16
ファイルを再生する 16
USB メモリーを再生する 17
USB メモリーに保存されているファイルを再生する 17
D/A コンバーター機能で再生する 19
パソコンと接続して再生する(USB-DAC) 19
デジタル機器と接続して再生する(Coaxial/Optical) 23
お好みの音質に設定する 23
フィルター特性を切り替える 23

設定のしかた 24
メニュー 一覧 24
メニューの操作のしかた 24
Dither 25
NoiseShaper 25
Phones 25
HP AMP Gain 25
Resume Play 26
AutoStandby 26
Timer Play 26

困ったときは 27
こんなときの解決方法 28
故障かな?と思ったら 29
保証と修理について 33

付録 34
再生できるメディア 34
ディスク 34
USB メモリー 36
ファイルの再生順番について 37
フォルダとファイルについて 37
メディア使用時のご注意 37
ディスクの入れかた 37
メディアの取り扱いについて 38
ディスクのお手入れのしかた 38
D/A コンバーターについて 39
再生できる音声信号の仕様 39
用語の解説 39
主な仕様 41
索引 43

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

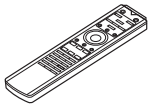
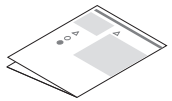
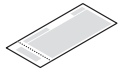
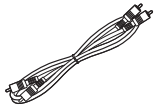
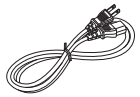
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。
本書は Web ブラウザ上でもご覧いただけます。タブレットまたはパソコンから、Web ブラウザを立ち上げて、次の URL を入力してください。
manuals.marantz.com/SA12/JP/JA/

付属品

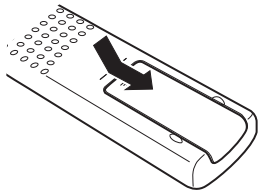
ご使用になる前にご確認ください。

取扱説明書(本書)	 リモコン (RC005PMSA)
 安全にお使いいただくために	単4形乾電池(2本)
 保証書	 オーディオケーブル
 電源コード【本機専用】	リモート接続ケーブル

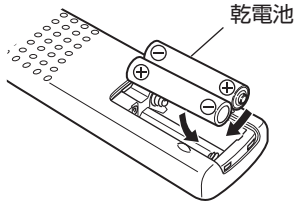
リモコンについて

乾電池の入れかた

1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



2 乾電池(2 本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



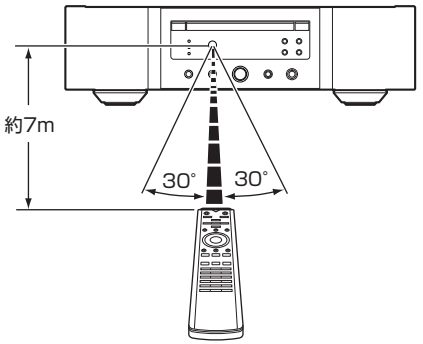
3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

- **トロイダルトランス**
  電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。

- **大容量ブロックコンデンサ**
  回路には音質検討を重ねたオーディオ用 4700μF 大容量コンデンサを搭載しています。

- **高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ**
  本機では、上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

- **ローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAM®SA3 送り出しアンプ**

- **ダブル･レイヤード･シャーシ**

- **高級削り出しアナログ音声出力端子**

- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**
  HDAM®SA2 を搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

- **アイソレーション設計**
  本機をパソコンなどの外部機器と接続したとき、本機に外部機器のノイズが流入して音質が低下しないように、デジタル入力インターフェースデバイスのグランド回路をオーディオ回路から分離しています。

- **メカエンジンオフ設計**
  USB-DAC、Coaxial または Optical 入力をお選びの場合は、メカエンジンの電源を切ることにより高音質化を図っています。

多彩な機能

- **ハイレゾリューション音源の再生に対応した USB-DAC 機能を搭載**
  高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6/11.2MHz)や最大 384kHz/32 ビットの PCM ファイルの再生に対応しています。USB-B 接続したパソコンからの高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。

- **D/A コンバーターとして使用可能**
  外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機の D/A コンバーターでアナログ変換して出力することができます。

- **ディスクに記録したハイレゾリューション音源の再生に対応**
  DVD-R/-RW/+R/+RW や CD-R/-RW に記録した MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF/DSD ファイルを再生できます。

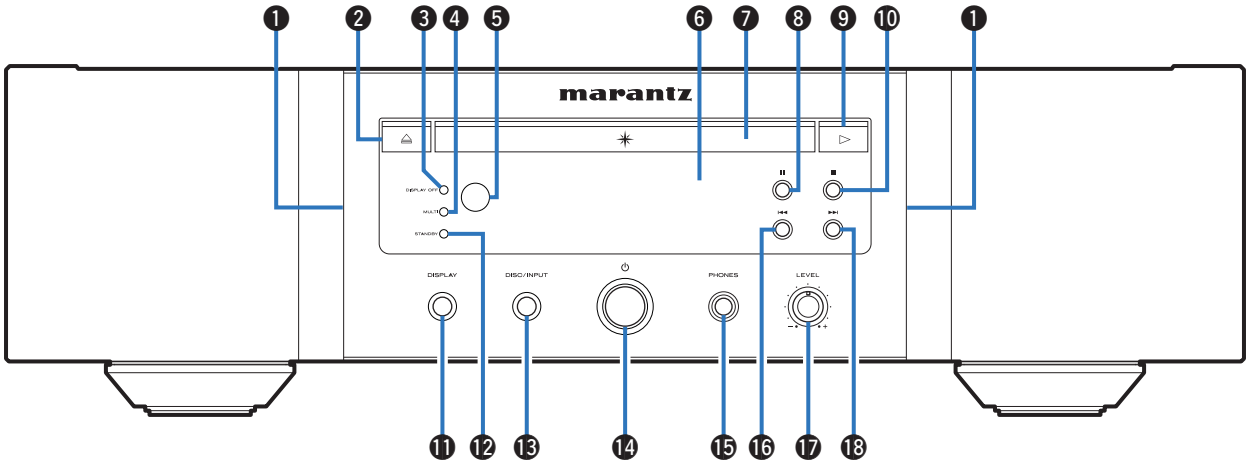
- **USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF/DSD)の再生に対応**
  USB メモリーを USB 端子に接続することにより、USB メモリーに保存した音楽ファイルを再生できます。

- **音声出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能**
  本機から出力するアナログ音声信号に流入する周辺回路からのノイズを抑えるため、デジタル音声出力回路をオフにする機能や、ディスプレイとイルミネーションランプを消灯する機能を搭載しました。

- **フィルター切り替え機能**
  CD/DAC モード再生時に、2 種類のフィルター特性を切り替えて音楽をお楽しみいただけます。

各部の名前

フロントパネル



❶ **イルミネーションランプ**
電源をオンにすると青色に点灯します。

❷ **ディスクトレイ開閉ボタン(⏏)**
ディスクトレイを開閉します。(☞14 ページ)

❸ **ディスプレイオフ表示(DISPLAY OFF)**
ディスプレイの明るさが消灯のときに点灯します。(☞12 ページ)

❹ **マルチチャンネルレイヤー表示(MULTI)**
スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルレイヤーを選んだときに点灯します。(☞13 ページ)

❺ **リモコン受光部**
リモコンからの信号を受信します。(☞3 ページ)

❻ **ディスプレイ**
各種情報を表示します。(☞6 ページ)

❼ **ディスクトレイ**
ディスクを挿入します。(☞14 ページ)

❽ **ポーズボタン(⏸)**
再生を一時停止します。

❾ **プレイボタン(▶)**
再生をはじめます。

❿ **ストップボタン(■)**
再生を停止します。

⓫ **ディスプレイボタン(DISPLAY)**
ディスプレイを点灯/消灯します。長押しするたびに、イルミネーションランプの点灯/消灯を切り替えます。

⓬ **スタンバイ表示(STANDBY)**
電源の状態によって、次のように点灯します。
- 電源オン時:消灯
- スタンバイ時:赤色
- 電源オフ時:消灯

⓭ **メディアモード切り替えボタン(DISC/INPUT)**
再生するメディアモードを切り替えます。(☞12 ページ)

⓮ **電源ボタン(⏻)**
本機の電源をオン/オフします。(☞12 ページ)

⓯ **ヘッドホン端子(PHONES)**
ヘッドホンを接続します。

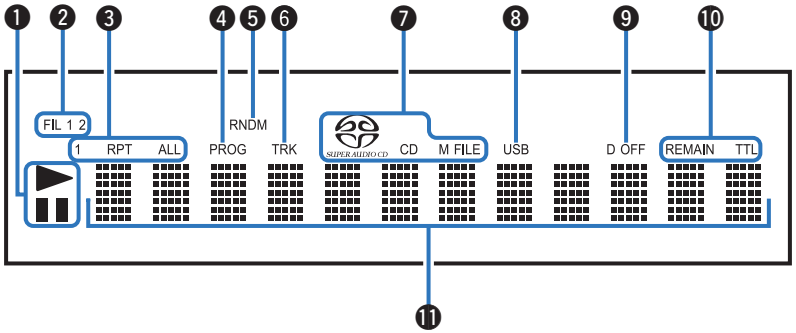
ご注意
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⓰ **スキップ/早戻しボタン(⏮)**
再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします。

⓱ **ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)**
ヘッドホンの音量を調節します。

⓲ **スキップ/早送りボタン(⏭)**
次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします。

ディスプレイ



❶ 再生モード表示
►:再生中に点灯します。
❚❚:一時停止中に点灯します。

❷ フィルター表示(FIL 1 2)
お選びのフィルター(Filter 1 または Filter 2)を表示します。(☞23 ページ)

❸ リピートモード表示
リピートモードの設定に合わせて点灯します。

❹ プログラム表示(PROG)
プログラム再生モードに設定すると点灯します。

❺ ランダム表示(RNDM)
ランダム再生モードに設定すると点灯します。

❻ トラック番号表示(TRK)
トラック番号の表示中に点灯します。

❼ ディスクメディア表示
再生ディスクの種類を表示します。
CD-R/-RW や DVD-R/-RW/+R/+RW を再生する場合は“M FILE”表示が点灯します。

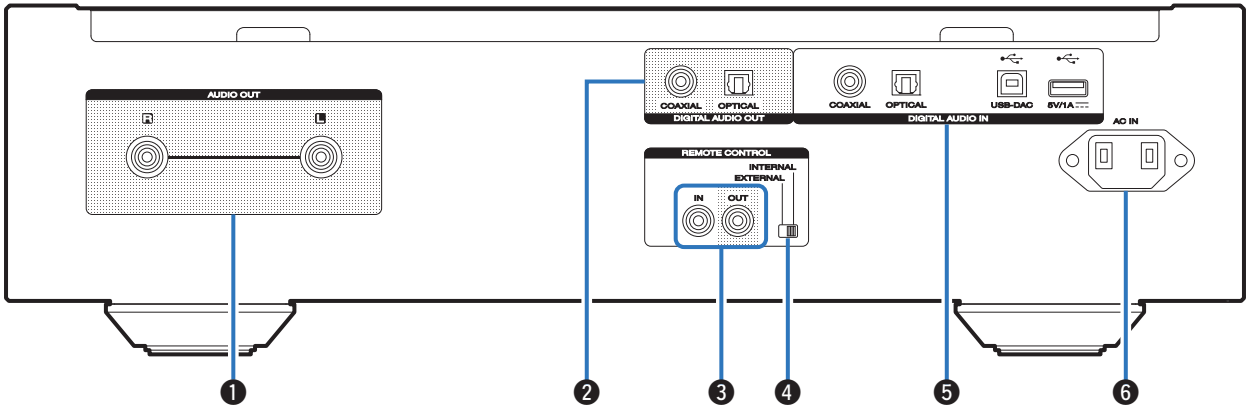
❽ USB 表示
再生するメディアモードを“USB”に設定しているときに点灯します。

❾ デジタル音声出力オフ表示(D OFF)
デジタル音声出力設定をオフにしているときに点灯します。(☞13 ページ)

❿ 残り時間表示
REMAIN : 再生曲の残り時間を表示中に点灯します。
TTL : 全曲の残り時間を表示中に点灯します。

⓫ インフォメーションディスプレイ
再生時間表示など、各種情報を表示します。

リアパネル



❶ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)
アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞9 ページ)

❷ デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)
デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します。(☞9 ページ)

❸ リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)
リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続するときに使用します。(☞11 ページ)

❹ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ
アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプが受信したリモコン信号を本機が受けて動作します。(☞11 ページ)

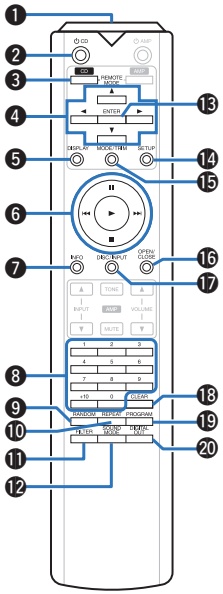
❺ デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)
デジタル音声出力端子(同軸/光)付きの機器や USB メモリー、パソコンを接続します。

- 「デジタル音声出力端子付きの機器を接続する」(☞10 ページ)
- 「USB 端子に USB メモリーを接続する」(☞10 ページ)
- 「パソコンを接続する」(☞10 ページ)

❻ AC インレット(AC IN)
電源コードを接続します。(☞11 ページ)

❑ 本機の操作

本機を操作するときは、リモートモード CD 切り替えボタン(REMOTE MODE CD)を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。



❶ **リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(☞3 ページ)

❷ **電源ボタン(⏻ CD)**
本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞12 ページ)

❸ **リモートモード CD 切り替えボタン (REMOTE MODE CD)**
リモコンの操作モードを CD に切り替えます。

❹ **カーソルボタン(△▽◁▷)**
項目を選択します。

❺ **ディスプレイボタン(DISPLAY)**
ディスプレイを点灯/消灯します。長押しするたびに、イルミネーションランプの点灯/消灯を切り替えます。

❻ **システムボタン**
再生に関する操作をします。

❼ **インフォメーションボタン(INFO)**
ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。

❽ **数字ボタン(0 ～ 9、+10)**
数字を入力します。

❾ **ランダムボタン(RANDOM)**
ランダム再生をします。

❿ **リピートボタン(REPEAT)**
リピート再生をします。

⓫ **フィルターボタン(FILTER)**
フィルターの特性を切り替えます。(☞23 ページ)

⓬ **サウンドモード切り替えボタン(SOUND MODE)**
スーパーオーディオ CD の再生レイヤーを切り替えます。

⓭ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。

⓮ **セットアップボタン(SETUP)**
メニューの設定をします。(☞24 ページ)

⓯ **再生モード切り替えボタン(MODE/TRIM)**
再生モードを切り替えます。

⓰ **ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE)**
ディスクトレイを開閉します。(☞14 ページ)

⓱ **メディアモード切り替えボタン(DISC/INPUT)**
再生するメディアモードを切り替えます。(☞12 ページ)

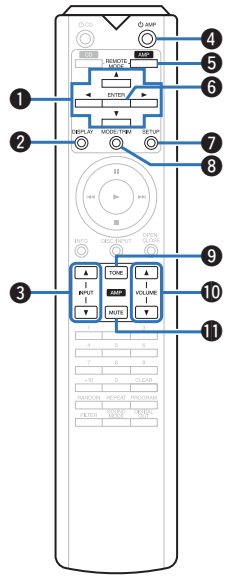
⓲ **クリアボタン(CLEAR)**
プログラム再生の登録を取り消します。(☞15 ページ)

⓳ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラム再生をします。(☞15 ページ)

⓴ **デジタル音声出力ボタン(DIGITAL OUT)**
デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。(☞13 ページ)

❑ アンプの操作

マランツ製アンプを操作できます。
アンプを操作するときは、リモートモード AMP 切り替えボタン(REMOTE MODE AMP)を押して、リモコンをアンプの操作モードに切り替えます。



❶ **カーソルボタン(△▽◁▷)**
❷ **ディスプレイボタン(DISPLAY)**
❸ **入力ソース切り替えボタン(INPUT ▲▼)**
❹ **電源ボタン(⏻ AMP)**
❺ **リモートモード AMP 切り替えボタン (REMOTE MODE AMP)**
❻ **エンターボタン(ENTER)**
❼ **セットアップボタン(SETUP)**
❽ **トリムモードボタン(MODE/TRIM)**
❾ **トーンボタン(TONE)**
❿ **音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)**
⓫ **消音ボタン(MUTE)**

- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

❑ 目次

アンプを接続する	9
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	9
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	10
USB 端子に USB メモリーを接続する	10
パソコンを接続する	10
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	11
オーディオタイマーを接続する	11
電源コードを接続する	11

ご注意

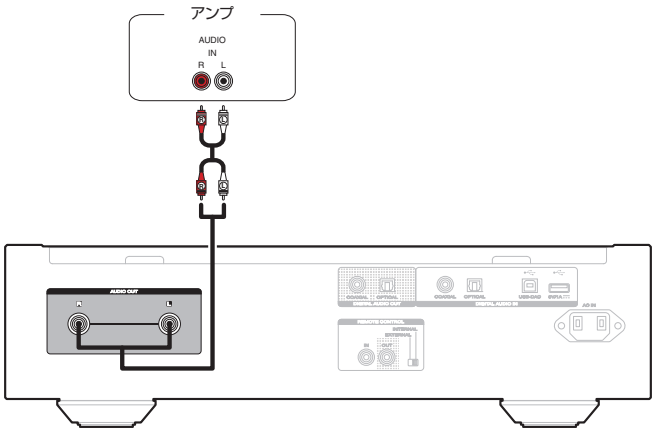
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

❑ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

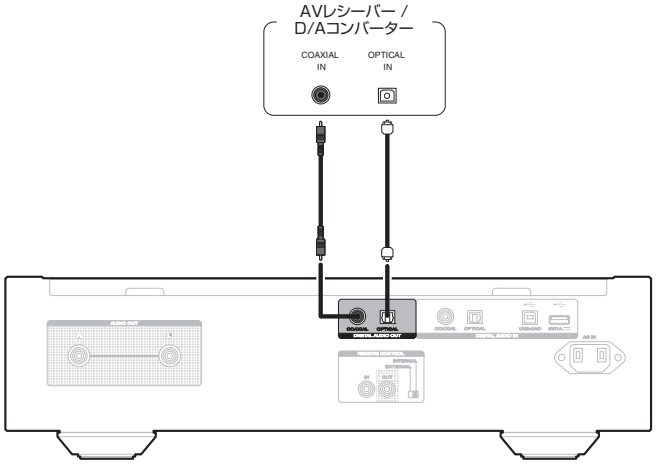
オーディオケーブル（付属）	
リモート接続ケーブル（付属）	
光伝送ケーブル（別売り）	
同軸デジタルケーブル（別売り）	
USB ケーブル（別売り）	

アンプを接続する



デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

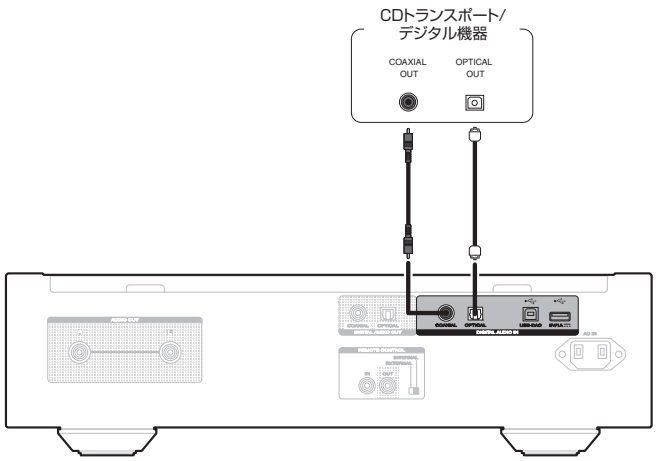


ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD ファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。
- 本機の D/A コンバーター機能を使って、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(☞19 ページ)

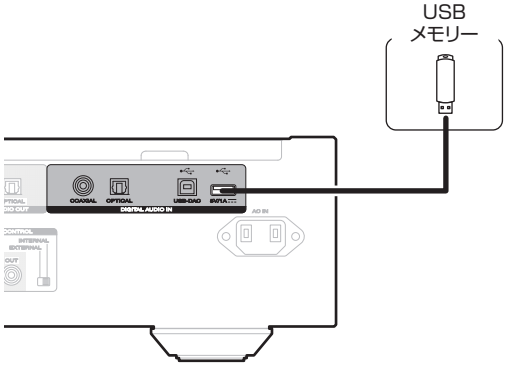


❑ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞39 ページ)をご覧ください。

USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」をご覧ください。(☞17 ページ)



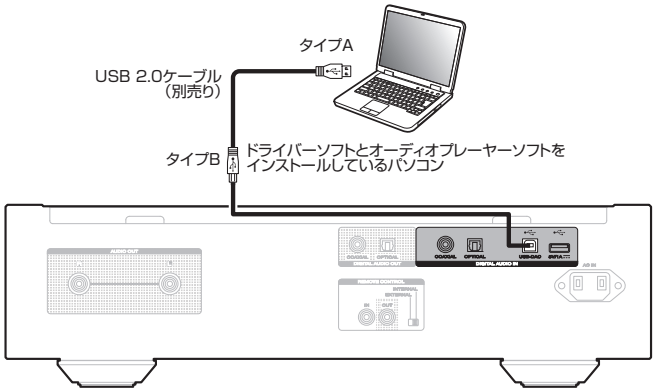
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

パソコンを接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(別売り)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(☞19 ページ)



- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(☞19 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの SA-12 のページからダウンロードしてください。

ご注意

- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。
次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

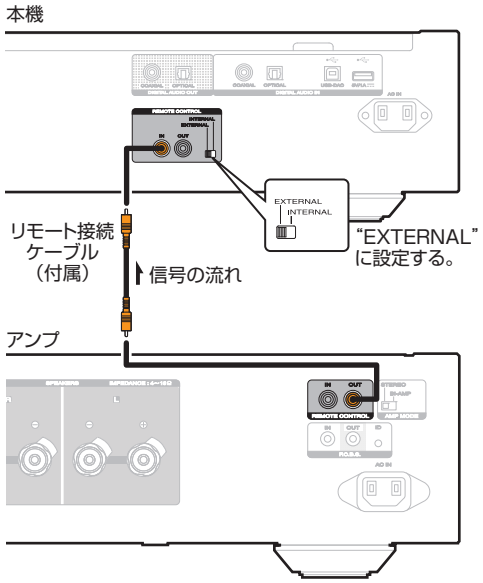
付属のリモート接続ケーブルを使用して、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

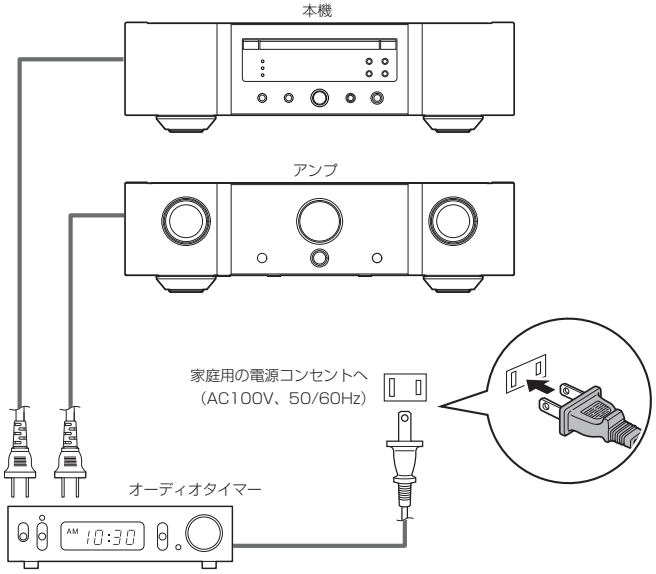
- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

- アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



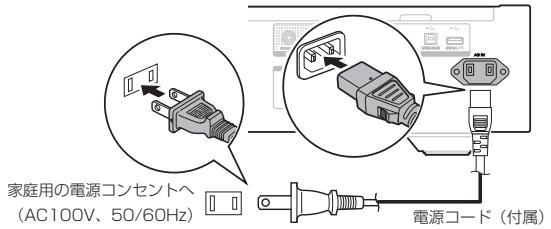
オーディオタイマーを接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます。（「Timer Play」(☞26 ページ)）



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

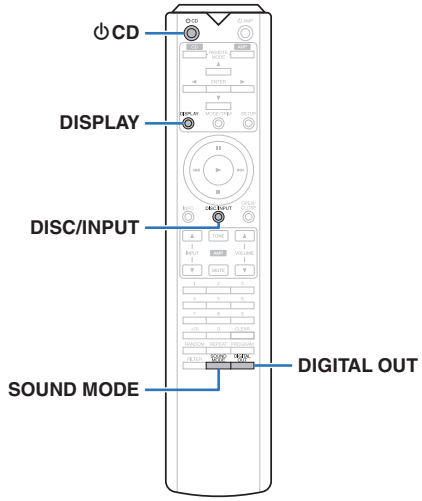


再生のしかた

❑ 目次

基本操作	12
CD およびスーパーオーディオ CD を再生する	14
データ CD およびデータ DVD を再生する	16
USB メモリーを再生する	17
D/A コンバーター機能で再生する	19
お好みの音質に設定する	23

基本操作



電源を入れる

1 **本体の ⏻ を押して、電源を入れる。**

- スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、リモコンの ⏻ CD を押してください。
- 本体の ▶ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

❑ 電源をスタンバイにする

1 **⏻ CD を押す。**
STANDBY 表示が赤色に点灯します。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、本体の ⏻ を押して電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

メディアモードを切り替える

1 **DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを選ぶ。**

Disc（お買い上げ時の設定）:	ディスクを再生するときに選びます。
USB:	USB メモリーを再生するときに選びます。
USB-DAC:	パソコンの音楽ファイルを再生します。
Coaxial:	COAXIAL 端子に接続した機器を再生します。
Optical:	OPTICAL 端子に接続した機器を再生します。

- 本体の DISC/INPUT を押しても、再生するメディアモードを切り替えることができます。

ディスプレイやイルミネーションランプを消灯する

ディスプレイおよびディスプレイ回路から発生するノイズがアナログ音声出力信号に与える影響を抑えるため、ディスプレイ回路の動作を停止できます。

1 **再生中に DISPLAY を押す。**
DISPLAY を押すたびに、ディスプレイとイルミネーションランプの点灯 /消灯を同時に切り替えます。

- ディスプレイを消灯にすると、DISPLAY OFF 表示が点灯します。
- 再生中以外に DISPLAY を押しても、ディスプレイやイルミネーションランプは消灯しません。

イルミネーションランプを常に消灯する

ディスプレイ表示のオン/オフにかかわらず、イルミネーションランプを常に消灯します。

1 **点灯中に DISPLAY を 2 秒以上長押しする。**
消灯から点灯に設定を変更するときは、再度 DISPLAY を 2 秒以上長押ししてください。

デジタル音声出力を停止する

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIGITAL OUT を押す。

ボタンを押すたびに、デジタル音声出力をオン/オフします。

- デジタル音声出力をオフにすると、ディスプレイの“D OFF”が点灯します。

スーパーオーディオ CD の最優先再生レイヤーを切り替える

ディスク挿入後に優先的に再生するレイヤーを設定できます。

1 DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“Disc”に切り替える。

2 ディスクが入っていないことを確認する。

- ディスク挿入後にレイヤーの切り替えをおこなうと、そのディスクの再生レイヤーは切り替わりますが、最優先再生レイヤーの設定は変わりません。

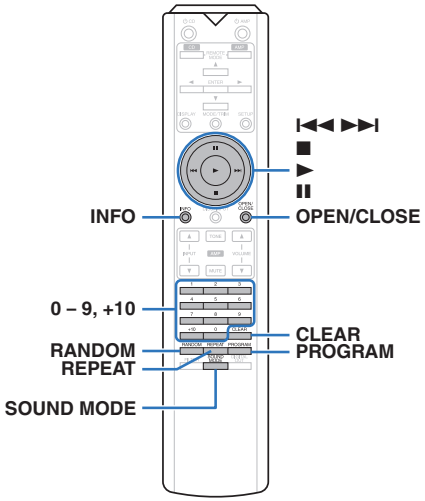
3 SOUND MODE を押して、再生するレイヤーを切り替える。

STEREO（お買い上げ時の設定）:	スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します。
MULTI:	スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生します。 また、マルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生します。
CD:	スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。

- 最優先再生レイヤーを設定後、ディスクを読み込んだときに再生するレイヤーを表示します。
- 最優先に設定したレイヤーを含まないディスクを読み込んだとき、自動的に他のレイヤーを表示します。
- この設定は、ディスクトレイの開閉や電源のオン/オフをおこなっても解除されません。設定を変更したい場合は、設定し直してください。
- ディスク挿入後や、ディスプレイに“Open”を表示しているときは、最優先再生レイヤーの設定はできません。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次のとおりです。

① STEREO
② MULTI
③ CD

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する



CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

1 **OPEN/CLOSEを押して、ディスクを入れる。(☞37ページ)**

再生するメディアモードが自動的に“Disc”に切り替わります。

- 本体の⏏を押しても、ディスクトレイを開閉できます。
- ▶を押しても、ディスクトレイを閉じることができます。その場合は、自動的に再生をはじめます。

2 **スーパーオーディオCDを再生するときは、SOUND MODEを押して再生レイヤーを切り替える。(☞13ページ)**

3 **▶を押す。**

ディスプレイの▶表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
I◀◀、▶▶I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し) 早戻し/早送り
0~9, +10	曲の選択
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
INFO	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。 • 本機の表示時間は1秒未満を切り捨てて計算しているため、実際の時間と異なる場合があります。
	スーパーオーディオCDに収録されているテキスト情報をディスプレイに表示します。

❑ ディスプレイの表示を切り替える

INFO を押す。

メディアに記録されているテキストや時間情報を表示します。

- テキスト情報はスーパーオーディオ CD でのみ表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
！ ” ＃＄％＆：；＜＞？＠＼［］_｀｜｛｝～＾’（）
＊＋，－．／＝(空白)
```

❑ 再生できるディスクについて

- 「ディスク」をご覧ください。(☞34 ページ)

❑ 好きな曲を聴く（ダイレクト選曲）

1 **0 ～ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。**

【例】

4 曲目：

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目：

数字ボタンの 1 と 2 を押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

お好みの順序で再生する（プログラム再生）

最大 20 曲までプログラム再生ができます。

1 **停止中に PROGRAM を押す。**

ディスプレイの“PROG”表示が点灯します。

2 **0 ～ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。**

【例】

4 曲目：数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目：数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3 **► を押す。**

プログラムした曲順に再生をはじめます。

- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

ご注意

- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラムが解除します。

❑ プログラムした曲順を確認する

停止中に ►►I を押す。

►►I を押すたびに、プログラムした曲順でトラック番号を表示します。

❑ プログラムした曲を取り消す

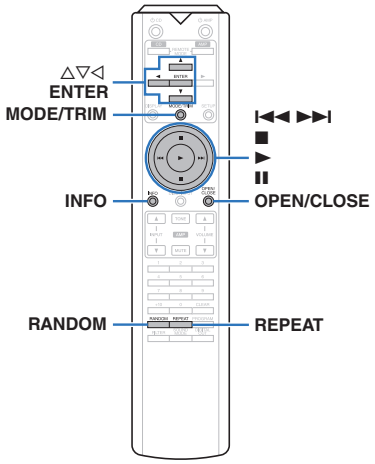
停止中に CLEAR を押す。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

❑ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データCDおよびデータDVDを再生する



- ここでは、CD-R/-RW および DVD-R/-RW/+R/+RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio)形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R/-RW および DVD-R/-RW/+R/+RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。
  詳しくは、「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(☞35 ページ)
  - MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF/DSD

ご注意
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

"Windows Media" および "Windows" は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 音楽ファイルを記録してある CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW をディスクトレイに入れる。(☞37 ページ)
- OPEN/CLOSE を押して、ディスクトレイを開閉します。

2 △▽◁ を押してフォルダを選び、ENTER を押す。

3 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し)早戻し/早送り
◁	1 つ上の階層に移動
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
MODE/TRIM	曲の再生範囲の選択
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	再生中の経過時間、テキスト情報およびファイルフォーマットの表示を切り替えます。

- CD-R/-RW または DVD-R/-RW/+R/+RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、まず ◁ を押して階層表示をおこなってください。次に △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

❑ ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。
- 再生中の経過時間、テキスト情報およびファイルフォーマットの表示を切り替えます。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ： ； ＜ ＞ ？ ＠ ＼ ［ ］ ＿ ｀ ｜ ｛ ｝ ～ ＾ ’ （ ） ＊
＋ ， - ． ／ ＝ (空白)
```

- ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定します。

❑ 再生できるファイルについて

- 「再生できるファイルの仕様」をご覧ください。(☞35 ページ)

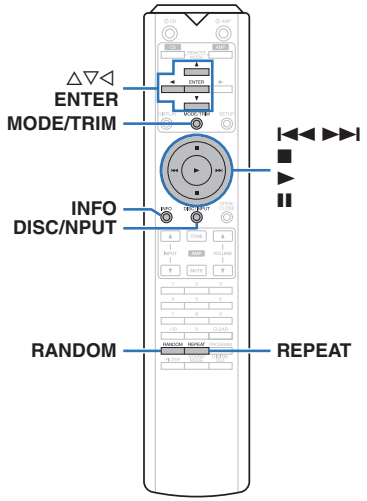
❑ 再生範囲を切り替える

停止中に MODE/TRIM を押す。
- 曲の再生範囲を設定できます。

Folder mode:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
All mode:	ディスク内のすべての曲を再生します。

- 再生範囲を"All mode"にすると、フォルダの階層を表示しません。

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生します。
- 本機は、マスストレージクラスに対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、FAT16 または FAT32 フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。
  詳しくは、「USB メモリー」(☞36 ページ)をご覧ください。
  - MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/Apple Lossless/AIFF/DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。(☞10 ページ)

2 DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“USB”に切り替える。

- メニューの“Resume Play”(☞26 ページ)を“On”に設定すると、自動的に再生をはじめます。

3 ◁ を押す。

本体のディスプレイにファイル/フォルダリストを表示します。

- ■ を押して再生を停止しても、ファイル/フォルダリストを表示します。

4 △▽ を押してフォルダを選び、ENTER を押す。

5 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
⏸	一時停止
■	停止
⏮、⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し) 早戻し/早送り
◁	1 つ上の階層に移動
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
MODE/TRIM	フォルダ再生モードの切り替え • “Folder”と“All”を切り替えます。
INFO	再生中の経過時間およびテキスト情報の表示を切り替えます。

- USB メモリー再生中に別のファイルを再生する場合は、まず ◁ を押して階層表示をおこなってください。次に △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

ご注意

- USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

❑ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- 再生中の経過時間およびテキスト情報の表示を切り替えます。
- WAV/AIFF/DSD(.dff)ファイルを再生しているときは、ファイル名、ファイル番号およびファイルフォーマットを表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
！" ＃＄％＆：；＜＞？＠＼［］＿｀｜｛｝～＾’（）＊
＋，－．／＝(空白)
```

- 本機で表示できない文字は、“ . ”(ピリオド)に置き換えて表示します。

❑ 再生できるファイルについて

「USB メモリー」(☞36 ページ)をご覧ください。

❑ 再生範囲を切り替える

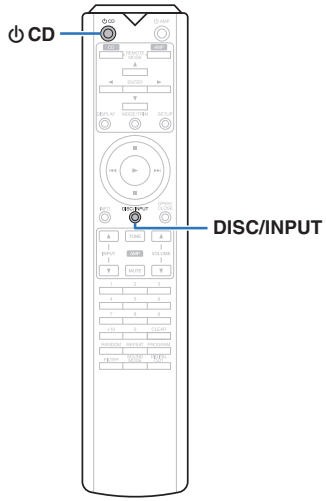
停止中に MODE/TRIM を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

Folder mode:	選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
All mode:	USB メモリー内のすべての曲を再生します。

- 再生範囲を“All mode”にすると、フォルダの階層を表示しません。

D/A コンバーター機能で再生する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

❑ パソコン(動作環境)

OS

- Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 および Windows 10
- Mac OS X 10.10、10.11 および macOS 10.12

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

ご注意

- 当社ではこれらの動作環境で確認をしていますが、すべてのシステムでの動作を保証するものではありません。

Windows OS 専用ドライバーソフトのインストール(☞19 ページ)

Mac OS オーディオ装置の確認(☞22 ページ)

❑ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

❑ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

1 **本機とパソコンの USB 接続をはずす。**

- 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
- パソコンにドライバーソフトをインストールする前に本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合は、USB 接続をはずして、パソコンを再起動してください。

2 **ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト SA-12 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。**

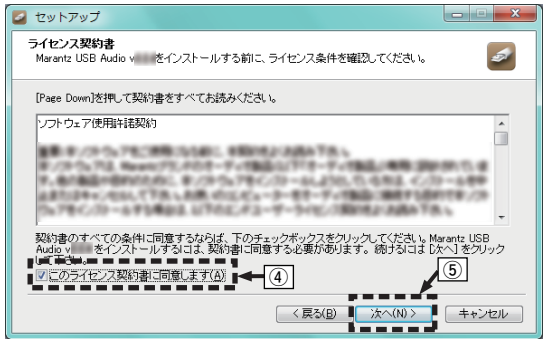
3 **ダウンロードファイルを解凍し、exe ファイルをダブルクリックする。**

4 **ドライバーソフトをインストールする。**

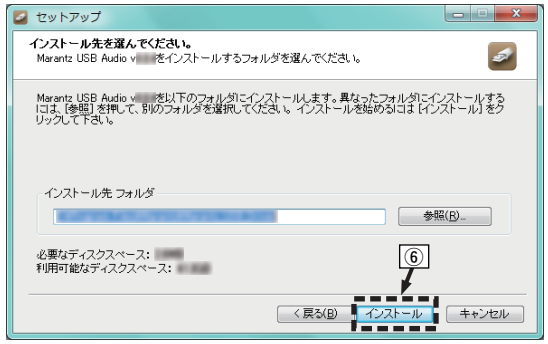
① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
② “OK”をクリックする。

③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)”をクリックする。

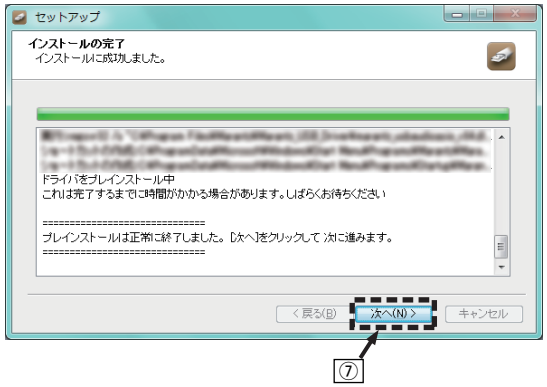
④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“このライセンス契約書に同意します(A)”を選ぶ。
⑤ “次へ(N)”をクリックする。



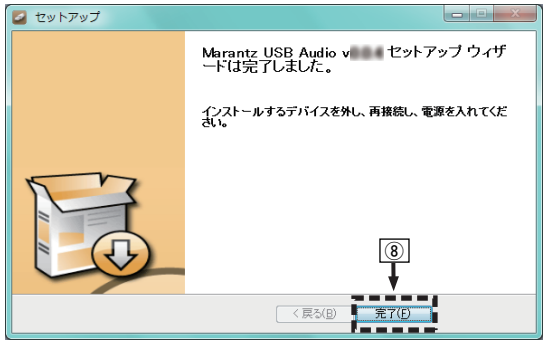
⑥ インストール開始ダイアログの“インストール”をクリックする。
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



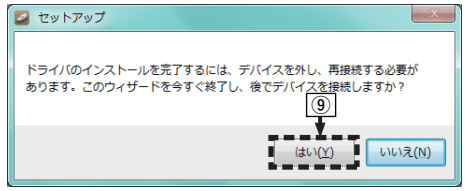
⑦ “次へ(N)”をクリックする。



⑧ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



⑨ “はい(Y)”をクリックする。



5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンをUSBケーブル(別売り)で接続する。

- 接続のしかたは「パソコンを接続する」をご覧ください。(☞10 ページ)

6 本体の ⏻ を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”に切り替える。

8 インストールしたドライバーを確認する。

① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
- コントロールパネルの設定一覧を表示します。

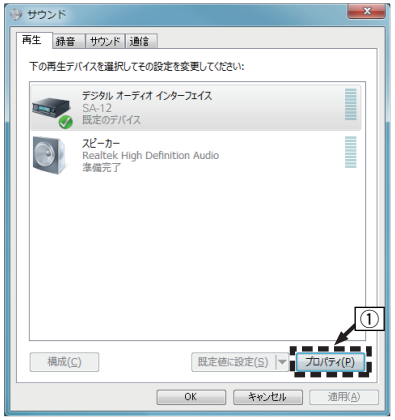
② “サウンド”をクリックする。
- サウンドメニュー画面を表示します。

③ “再生”タブの“SA-12”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“SA-12”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

① サウンドメニュー画面の“SA-12”を選び、“プロパティ”をクリックする。
- SA-12 のプロパティ画面を表示します。

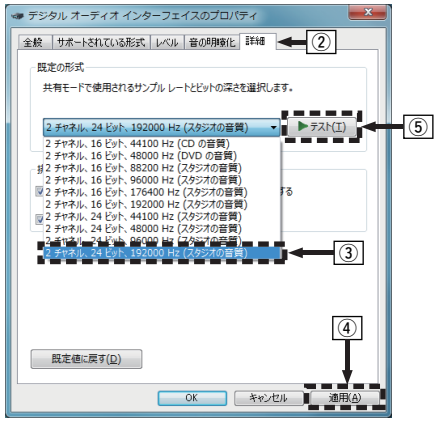


② “詳細”タブをクリックする。

③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
- “2 チャンネル、24 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします(Windows 7)。
- “2 チャンネル、32 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)”に設定することをおすすめします(Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)。

④ “適用(A)”をクリックする。

⑤ “テスト(T)”をクリックする。
- 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。



ご注意

- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。
- サンプリング周波数 352.8kHz/384kHz のファイルをダウンサンプリングせずに再生する場合は、ASIO(Audio Stream Input Output)ドライバーに対応したプレーヤーソフトが必要です。ASIO ドライバーでの再生は、ご使用のプレーヤーソフトをご確認ください。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。
- 本機を使用してパソコンからの音楽が正しく再生できない場合、http://marantz.jp/jp/html/faq.html の FAQ をご参照ください。また、使用するプレーヤーソフトのサポートページもご確認ください。

❑ オーディオ装置の確認(Mac OS のみ)

① 本機の電源をオフにしたまま、本機と Mac を USB ケーブル(別売り)で接続する。
- 接続のしかたは「パソコンを接続する」をご覧ください。(☞10 ページ)

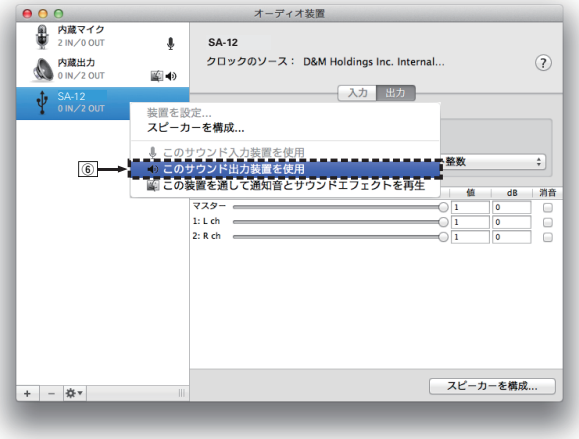
② 本体の ⏻ を押す。

③ DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”に切り替える。

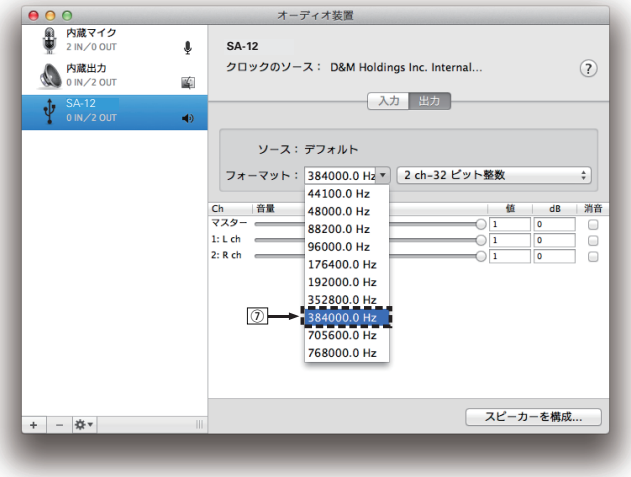
④ パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
- ユーティリティの一覧を表示します。

⑤ “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
- “オーディオ装置”画面を表示します。

⑥ “SA-12”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
- 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“SA-12”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



⑦ “SA-12”のフォーマットを選択する。
- “384000.0Hz”、“2ch-32 ビット整数”に設定することをおすすめします。



⑧ AudioMIDI 設定を終了する。

❑ 再生

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。
本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)にパソコンを接続してください。(☞10 ページ)

1 DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”に切り替える。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。
入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

- リニア PCM 信号を入力した場合
  【例】PCM176.4k/24

  - サンプリング周波数/ビット数の順に表示します。
  - 表示するビット数は、パソコンから本機の D/A コンバーターに入力された時点のビット数です。

- DSD 信号を入力した場合
  【例】DSD 11.2M

  - DSD 信号を入力した場合は、サンプリング周波数のみ表示します。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

❑ 再生できる音声信号について

「D/A コンバーターについて」(☞39 ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続をはずすと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続をはずしてください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB ケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数/ビット数と本機のサンプリング周波数/ビット数表示が異なることがあります。
- パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

1 DISC/INPUT を押して、再生するメディアモードを“Coaxial”または“Optical”に切り替える。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

- リニア PCM 信号を入力した場合
  【例】PCM176.4k/24

- サンプリング周波数/ビット数の順に表示します。
- 表示するビット数は、外部機器から本機の D/A コンバーターに入力された時点のビット数です。

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock”を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。

❑ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(☞39 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。

お好みの音質に設定する

フィルター特性を切り替える

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように、音質の調節ができるデジタルフィルター機能を搭載しています。この機能は入力信号が PCM のときのみ有効です。
フィルターの特長は次のとおりです。

フィルターの種類	特長
Filter 1	プリエコー、ポストエコー共に非常に短い、対称インパルス応答の特性です。非常に正確なサウンドステージとスムースなトーンバランスです。
Filter 2	非常に短いプリエコーと、プリエコーに比べて長いポストエコーの非対称インパルス応答の特性です。ニュートラルなトーンバランスで、“Filter1”と比べるとわずかに明るい音調です。

1 FILTER を押す。

ボタンを押すたびに、フィルターの種類(Filter 1 / Filter 2)が切り替わります。

ご注意

- フィルターの設定は、ラストメモリーファンクション機能を持っています。ディスクの交換や電源をオフにしても設定は変わりません。
- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD 信号の再生中は、フィルター機能がはたらきません。

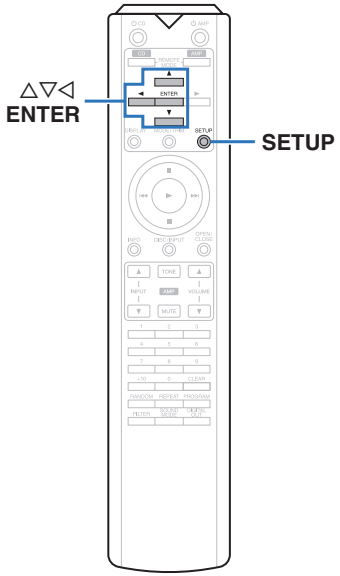
設定のしかた

メニュー 一覧

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内容	参照ページ
Dither	この機能はノイズシェーパー内の量子化器の誤差を最小化するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加えます。設定を変えることで S/N 比がわずかに変化し、音質も変わります。お好みに合わせて設定してください。	25
NoiseShaper	デジタル負帰還を使用し、可聴帯域のリニアリティ、ノイズ特性を改善します。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。	25
Phones	ヘッドホン出力のオン/オフを切り替えます。	25
HP AMP Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	25
Resume Play	USB メモリーの再生中に、再生するメディアモードの切り替えや USB メモリーの抜き差し、または電源の入れ直しをおこなった場合、再生を中断した曲を記憶し、その曲の最初から再生することができます。	26
AutoStandby	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	26
Timer Play	別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	26

メニューの操作のしかた



1 **SETUP を押す。**
ディスプレイにメニューを表示します。

2 **△▽ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して、お好みの設定に変更する。**

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**
- 前の項目に戻るときは、◁ を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に SETUP を押してください。通常表示に戻ります。

Dither

Dither はデジタル信号処理の過程で発生してしまう誤差を回避するため、入力された音声信号に微小かつランダムな値を加える機能です。Dither を加えることにより、わずかな S/N 比の変化があります。お好みに合わせて設定してください。

Dither 1 （お買い上げ時の設定）:	当社が開発した Dither です。誤差を減少させ、かつ S/N 比の悪化を最小限に抑えます。
Dither 2:	一般的な Dither です。誤差を減少させますが、S/N 比もわずかに悪化します。
Off:	S/N 比は最も良くなりますが、誤差がサウンドステージや音色にわずかに影響します。

ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD ファイルの再生中は、Dither 機能がはたらきません。

NoiseShaper

デジタル負帰還技術を用いて可聴帯域内のリニアリティとノイズ特性を改善します。設定の種類は次のとおりです。設定を変えても性能は変わりませんが、音質は変わります。お好みに合わせて設定してください。

3rd-1 （お買い上げ時の設定）:	高い S/N 比と開放的で精緻なサウンドステージを高度にバランスさせた設定です。
3rd-0:	高い S/N 比と自然な音調の設定ですが、解像度は抑え目です。
4th-1:	3rd-1 および 3rd-0 に比べて S/N 比は高いですが、サウンドステージの解像度がわずかに下がります。周波数レンジの広い音楽をダイナミックに再生します。
4th-0:	5kHz 以下の帯域で高い S/N 比を持っています。生の楽器やボーカルをダイナミックに再生します。

ご注意

- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーおよび DSD ファイルの再生中は、NoiseShaper 機能がはたらきません。

Phones

ヘッドホン回路から発生するノイズが、アナログ音声出力信号に与える影響を抑えるため、ヘッドホン回路の動作を停止できます。

On （お買い上げ時の設定）:	ヘッドホン出力を有効にします。
Off:	ヘッドホン出力を無効にします。

- ヘッドホンをご使用にならない場合は、設定をオフにした方がより高音質な音声でお楽しみいただけます。

HP AMP Gain

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

Low （お買い上げ時の設定）:	ヘッドホンアンプのゲインを“Low”に設定します。
Middle:	ヘッドホンアンプのゲインを“Middle”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が小さいと感じる場合に設定します。
High:	ヘッドホンアンプのゲインを“High”に設定します。ゲイン設定を“Middle”にしても、音量が小さいと感じる場合に設定してください。

ご注意

- “HP AMP Gain”設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げてからおこなってください。

Resume Play

USB メモリーの再生中に、再生するメディアモードの切り替えや USB メモリーの抜き差し、または電源の入れ直しをおこなった場合、再生を中断した曲（レジューム情報）を記憶し、その曲の最初から再生することができます。

On （お買い上げ時の設定）:	レジューム再生をおこないます。
Off:	レジューム再生をおこないません。

ご注意

- USB メモリーを取り外してから再び接続してもレジューム情報を記憶しますが、別の USB メモリーを接続すると以前の USB メモリーのレジューム情報は消去されます。
- USB メモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。
- レジューム情報を消去するには、停止中に ■ を押してください。“Resume Off”と表示されます。
- USB メモリーの再生中に本体の ⏻ を押して電源を切った場合、レジューム情報を記録しません。

AutoStandby

本機が停止したまま何も操作しない状態が 30 分以上続くとき、自動的にスタンバイになるように設定します。

On:	本機をオートスタンバイモードに設定します。
Off （お買い上げ時の設定）:	本機をオートスタンバイモードに設定しません。

Timer Play

別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。
（「オーディオタイマーを接続する」(☞11 ページ)）

On:	タイマー再生を設定します。タイマー再生するメディアモードを選んでください。
Off （お買い上げ時の設定）:	タイマー再生を設定しません。

❑ タイマー再生のしかた

1. 接続した機器の電源を入れる。
2. ディスクを入れる、または USB メモリーを接続する。
3. 本機のメディアモードをタイマー再生するメディアに切り替える。
4. アンプの入力ソースを本機に切り替える。
5. オーディオタイマーをタイマー再生を開始する時間に設定する。
6. オーディオタイマーのタイマーモードをオンにする。
   オーディオタイマーに接続した機器の電源がオフになります。
   設定した時間になると接続した機器の電源がオンになり、再生をはじめます。

ご注意

- オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- タイマー再生ではランダム再生、リピート再生およびプログラム再生はできません。

困ったときは

❑ 目次

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい。 28
アナログ音声を高音質に再生したい 28
イルミネーションランプを点灯しないようにしたい 28
スーパーオーディオ CD のテキストを表示したい 28
スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生したい 28
DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい 28
特定のフォルダのみを再生したい 28
USB メモリーの自動再生を解除したい 28
本機のリモコンを使ってマランツ製アンプを操作したい 28

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる 29
リモコンで操作ができない 29
本機のディスプレイが表示されない 30
音がまったく出ない 30
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 30
希望する音が出ない 30
ディスクが再生できない 31
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない 31
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical) 31
USB メモリーが再生できない 32
USB メモリーが再生できないパソコンや外部機器で再生したファイルのビット数と本機のビット数表示が異なる 32
USB メモリー内のテキスト情報が正しく表示されない 32

こんなときの解決方法

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(☞23 ページ)

アナログ音声を高音質に再生したい

- ディスプレイおよびディスプレイ回路からのアナログ音声出力信号への影響を抑えるため、ディスプレイをオフに設定してください。(☞12 ページ)
- デジタル音声出力回路からのアナログ音声信号への影響を抑えるため、デジタル音声出力をオフに設定してください。(☞13 ページ)
- ヘッドホン回路から発生するノイズが、アナログ音声出力信号に与える影響を抑えるため、ヘッドホン回路の動作を停止できます。メニューの“Phones”を“Off”に設定してください。(☞25 ページ)

イルミネーションランプを点灯しないようにしたい

- イルミネーションランプが常に消灯するように設定してください。(☞12 ページ)

スーパーオーディオ CD のテキストを表示したい

- 本機はスーパーオーディオ CD のテキスト情報表示に対応しています。INFO ボタンを押して、表示情報を切り替えてください。(☞15 ページ)

スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生したい

- 本機はマルチチャンネルを 2 チャンネルにダウンミックスして再生できます。SOUND MODE ボタンを押して、“MULTI”に設定してください。(☞13 ページ)

DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW 内のすべての曲をランダムに再生したい

- あらかじめ MODE/TRIM ボタンを押して、再生モードを“All Mode”に設定し、ランダム再生をおこなってください。(☞16 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- MODE/TRIM ボタンを押して、再生モードを“Folder mode”に設定してください。((☞16 ページ)、(☞18 ページ))

USB メモリーの自動再生を解除したい

- メニューの“Resume Play”を“Off”に設定してください。(☞26 ページ)

本機のリモコンを使ってマランツ製アンプを操作したい

- リモコンの REMOTE MODE AMP ボタンを押して、リモコンをアンプの操作モードに切り替えてください。(☞8 ページ)
- アンプの操作方法については、アンプの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、初めに次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってご確認ください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

❑ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	11
	• スタンバイモードになっています。リモコンの ⏻ CD ボタンを押してください。	12
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードの設定が“On”です。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、メニューの“Auto Standby”を“Off”に設定してください。	26
USB メモリーを接続すると電源が切れ、電源表示が赤色に点滅している。	• 接続した USB メモリーに本機は対応していません。動作負荷電流 1A 以下のものをご利用ください。	–
	• 本機から USB 経由で供給できる電力を超えています。本体の ⏻ ボタンを押して電源を切り、USB メモリーを外してから電源を入れなおしてください。	–

❑ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	3
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	3
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	–
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	3
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	–
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	–
	• リモコンの REMOTE MODE CD ボタンを押して、リモコン操作モードを“CD”にしてください。	8
	• アンプをリモート接続せずに、本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	11

❑ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DISPLAY ボタンを押して、ディスプレイの表示を点灯させてください。	12

❑ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	9
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	–
	• デジタル音声入力端子付きの機器を接続する場合、“Digital Out”の設定を“On”にしてください。	13
	• スーパーオーディオ CD の HD レイヤー、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8kHz 以上のリニア PCM 信号のファイルの再生中は、デジタル音声出力を停止します。	–
	• ヘッドホンをお使いの場合、メニューの“Phones”の設定が“On”であることを確認してください。“Off”に設定していると、ヘッドホン端子から音声を出力しません。	25

❑ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW 再生中に音が途切れる。	• ハイレゾリューション音源が記録された CD-R/CD-RW を再生すると、音が途切れることがあります。	–
	• 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。	–
USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。	• USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。	–
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	–
	• お使いのパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。	–

❑ 希望する音が出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ヘッドホンの音量が小さい。	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使うときは、“HP AMP Gain”を“Middle”または“High”に切り替えてください。	25

❑ ディスクが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	38
DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。	34
	• 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。	–
	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	34
ディスプレイに“ No Disc”と表示される。	• ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、ディスプレイに“ No Disc”を表示します。	37
ディスプレイに“Unsupported”と表示される。	• 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported”を表示します。	37

❑ パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	• ご使用のパソコンの USB 端子に USB ケーブルを挿し直してください。挿し直しても本機が認識されないときは、別の USB 端子に挿してください。	10
	• ご使用のパソコンを再起動してください。	–
	• ご使用のパソコンの OS を確認してください。	19
	• ご使用のパソコンが Windows の場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。	19
再生デバイスとして本機が選択されていない。	• パソコンのサウンド設定で、再生デバイスとして本機を選択してください。	19
“Unlock”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlock”を表示します。	22
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。	22
	• ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“SA-12”のフォーマットが“384000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。	22

❑ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlock”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlock”を表示します。	23
“Unsupported”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	23

❑ パソコンや外部機器で再生したファイルのビット数と本機のビット数表示が異なる

症状	原因 / 対策	関連ページ
24 ビットのファイルを再生しても 16 ビットと表示される。	• ディスプレイに表示するビット数は、本機の D/A コンバーターに入力された時点のビット数です。24 ビットのファイルでも、実際は 16 ビットのデータが転送される場合があります。この場合は 16 ビットと表示します。	22

❑ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“No Device”、“Err1: Unsupported”、“Err3: hub unsupported”または“Err1: no responce”と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	10
	• マスストレージクラスの USB メモリーに対応しています。	–
	• USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	–
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	–
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	–
USB メモリー内のファイルを表示しない。または、“Err2: No playable files”と表示される。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	36
	• 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 1,000 個、1 つのフォルダに含まれるファイル数は最大 2,000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	36
	• USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。	–
USB メモリー内のファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	36
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	–
	• 再生できないファイルは、“Unsupported”を表示して次のファイルを再生します。	–
“.” で始まるファイルが再生できない。	• Mac の OS X などで作成したコンテンツを USB メモリーにコピーした場合、隠しファイルも同時にコピーされます。このファイルは拡張子がコンテンツの拡張子と同じ表示をしますが、実際はコンテンツではありません。Windows PC などでファイルを削除してください。	–

❑ USB メモリー内のテキスト情報が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
テキスト情報が “…” など、正しく表示されない。	• 本機で表示できない文字は、“.” (ピリオド)に置き換えて表示します。	–

保証と修理について

❑ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

❑ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

❑ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

❑ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

❑ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❑ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❑ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名‥‥‥取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号‥‥保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❑ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
スーパーオーディオ CD	
CD	
CD-R	
CD-RW	
DVD-R/-RW/+R/+RW	

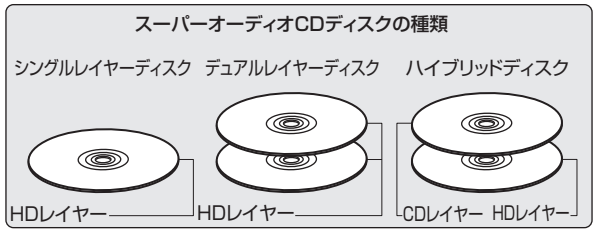
ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

❑ スーパーオーディオ CD

スーパーオーディオ CD には次の 3 つの種類があります。

1. シングルレイヤーディスク
   HD レイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオ CD です。
2. デュアルレイヤーディスク
   HD レイヤーが二層構造のスーパーオーディオ CD です。高音質で長時間の再生ができます。
3. ハイブリッドディスク
   HD レイヤーと CD レイヤーの二層構造のスーパーオーディオ CD です。
   CD レイヤーの内容は通常の CD プレーヤーで再生することができます。



HD レイヤーとは、スーパーオーディオ CD 用の高密度信号層のことです。
CD レイヤーとは、通常の CD プレーヤーで読み取り可能な層のことです。

- SOUND MODE ボタンで“MULTI”を選択した場合は、L チャンネルと R チャンネルにダウンミックスした音声を出力します。

❑ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数：1,000 個
1 つのフォルダに含まれる最大ファイル数：2,000 個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
  - インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

❑ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット長	再生できるディスクの種類			拡張子
				CD-R/ CD-RW	DVD-R/ DVD-RW	DVD+R/ DVD+RW	
MP3	44.1/48kHz	32～320kbps	–	✓	✓	✓	.mp3
WMA	44.1/48kHz	48～320kbps	–	✓	✓	✓	.wma
AAC	44.1/48kHz	16～320kbps	–	✓	✓	✓	.aac/ .m4a
WAV	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.wav
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.flac
Apple Lossless*1	44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.m4a
AIFF	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	✓*2	✓	✓	.aif/ .aiff
DSD	2.8/5.6MHz	–	1 ビット	-	✓	✓	.dsf/ .dff

*1　Apple Lossless Audio Codec（ALAC）デコーダは Apache License Version 2.0（http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0）に基づいて配布されています。

*2　この項目は、再生できるファイルのサンプリング周波数が 44.1/48kHz のみとなります。

USB メモリー

❑ USB 対応ファイルシステム

FAT16 または FAT32

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

❑ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大フォルダ数：1,000 個
1 つのフォルダに含まれる最大ファイル数：2,000 個

❑ タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
WMA-TAG
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

❑ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
MP3	44.1/48kHz	32～320 kbps	–	.mp3
WMA	44.1/48kHz	48～320 kbps	–	.wma
AAC	44.1/48kHz	16～320 kbps	–	.aac/.m4a
WAV	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	.wav
FLAC	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	.flac
Apple Lossless *	44.1/48/88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz	–	16/24 ビット	.aif/.aiff
DSD	2.8/5.6MHz	–	1 ビット	.dsf/.dff

* Apple Lossless Audio Codec（ALAC）デコーダは Apache License Version 2.0（http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0）に基づいて配布されています。

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機はカードリーダー、USB 延長ケーブル、USB ハブには対応していません。

- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できます。
  - インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RW および USB メモリー

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RW および USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・・・・、の順番に再生します。

- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- DVD-R/-RW/+R/+RW および CD-R/-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

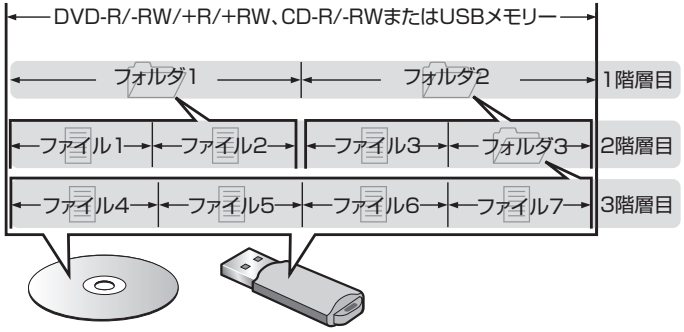
ご注意

- USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

DVD-R/-RW/+R/+RW、CD-R/-RW および USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。

ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。



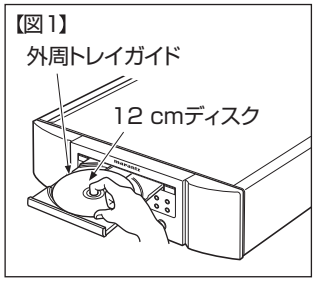
- 音楽ファイルを DVD-R/-RW/+R/+RW または CD-R/-RW ディスクに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

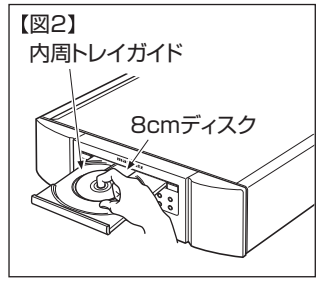
ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

【図1】



【図2】

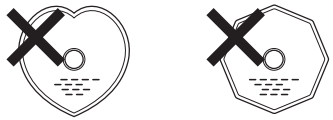


- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“Unsupported”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、ディスプレイに“ No Disc”を表示します。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

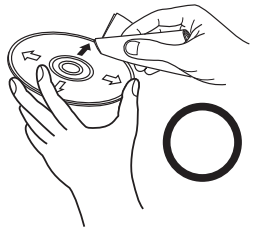
メディアの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。

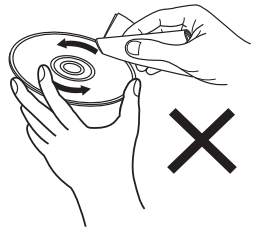
1. 直射日光が長時間当たるところ
2. 湿気・ほこりなどが多いところ
3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

D/A コンバーターについて

再生できる音声信号の仕様

❑ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6/ 11.2MHz	1 ビット
リニア PCM (2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192/352.8/ 384kHz	16/24/32 ビット

ご注意

- 本機の D/A コンバーター機能を使って、DSD 信号およびサンプリング周波数が 352.8/384kHz のリニア PCM 信号を再生した場合は、デジタル音声出力を停止します。

❑ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	16/24 ビット

用語の解説

AIFF (Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

Apple Lossless Audio Codec

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPhone、iPod で再生できます。約 60〜70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、Δ-Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

❑ オーディオ特性

- アナログ出力

	[スーパーオーディオ CD]	[CD]
チャンネル:	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz～100kHz	2Hz～20kHz
再生周波数特性:	2Hz～50kHz(–3dB)	2Hz～20kHz(±1dB)
S/N 比:	112dB(可聴帯域)	104dB
ダイナミックレンジ:	109dB(可聴帯域)	98dB
高調波歪率:	0.0008%(1kHz, 可聴帯域)	0.0015%(1kHz)
ワウ・フラッター:	水晶精度	水晶精度

- 出力レベル

アンバランス:	2.4V(10kΩ)	2.0V(10kΩ)
ヘッドホン出力:	50mW/32Ω(可変最大)	50mW/32Ω(可変最大)

- デジタル出力

同軸出力:	–	0.5Vp-p/75Ω
光出力:	–	–19dBm

- 光学読み取り方式

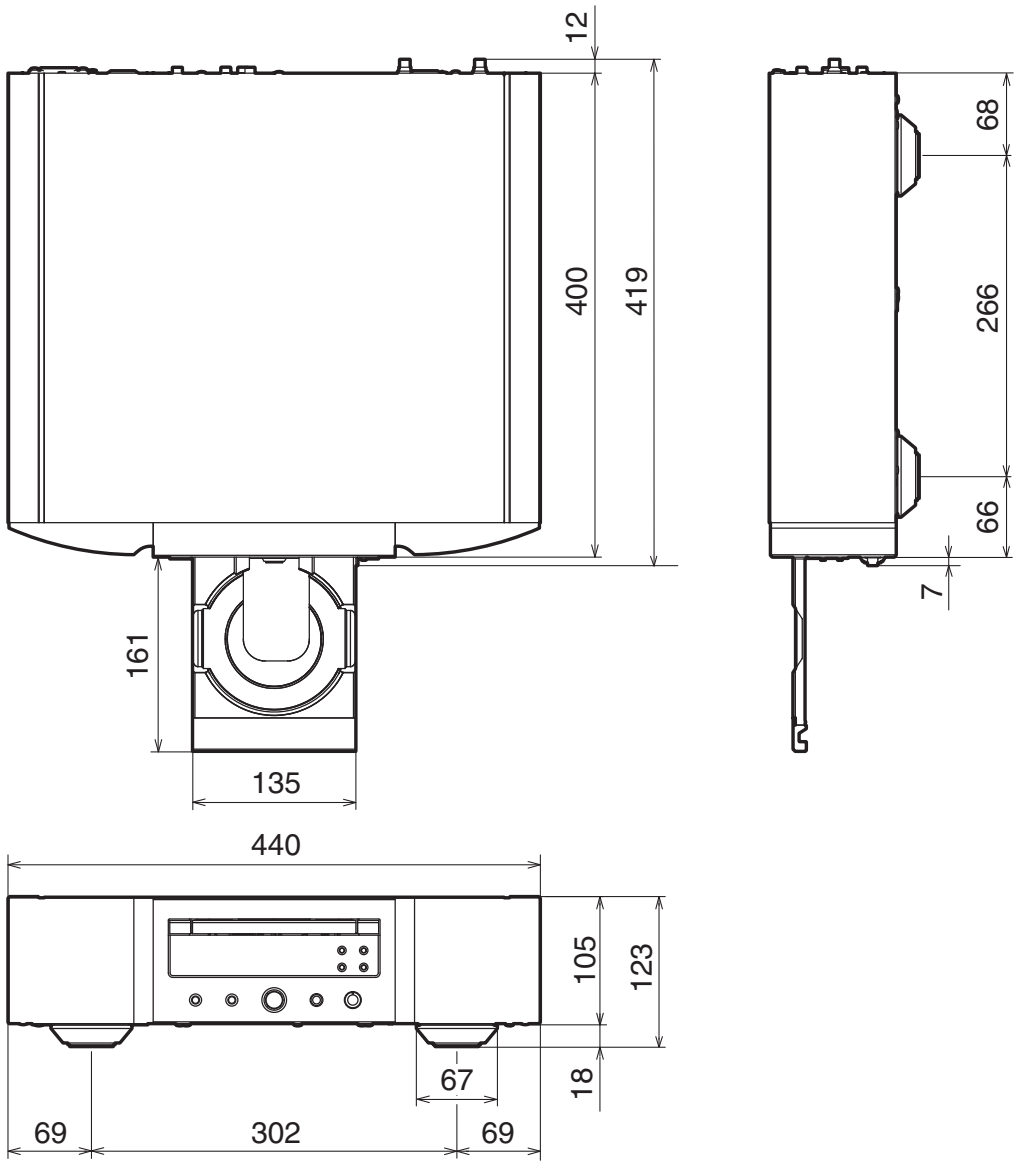
レーザー:	AlGaAs	AlGaAs
波長:	650nm	780nm
信号方式:	1 ビット DSD	16-bit リニア PCM
サンプリング周波数:	2.8224MHz	44.1kHz

❑ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	47W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W 以下
許容動作温度:	+5℃～+35℃
許容動作湿度:	5～90%(結露のないこと)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

❑ 寸法(単位:mm)



❑ 質量:16.4kg

索引

☞ A

AV レシーバー 9

☞ C

CD 14

☞ D

D/A コンバーターについて 9, 19

☞ U

USB メモリー 10, 17

☞ あ

アンプ 9

☞ お

オーディオタイマー 11
オートスタンバイ 26

☞ こ

故障かな？と思ったら 29
こんなときの解決方法 28

☞ て

ディスプレイ 6
ディスプレイの明るさ 12
データ CD 16

☞ は

パソコン 10

☞ ふ

プログラム再生 15
フロントパネル 5

☞ め

メニュー 一覧 24

☞ り

リアパネル 7
リモートコントロール 11
リモコン 8

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX : 044（330）1367

■ 受付時間　9 : 30 ～ 17 : 30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 050（3388）6801
〒 210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQをご確認ください。
http://marantz.jp/jp/html/faq.html

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://marantz.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）811

■ 受付時間　9 : 30 ～ 12 : 00 、13 : 00 ～ 17 : 30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 0466（86）9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://marantz.jp/jp/html/service.html

■ 代表修理窓口
首都圏サービスセンター
〒 252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX : 0466（86）9522

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒 210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in Japan 5411 11652 00AMA
Copyright © 2018 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.